

協 議 事 項 1  
(即付議議案第44号)

1 協議事項名 令和5年度徳島県公立高等学校入学者選抜の基本方針について  
(議案名)

2 協議理由  
(提案理由)

令和5年度徳島県公立高等学校生徒募集選抜要項の策定に向け，その基本方針を  
明らかにする必要があるため

# 令和5年度

## 徳島県公立高等学校入学者選抜の基本方針（案）

徳島県教育委員会

## 令和5年度 徳島県公立高等学校入学者選抜の基本方針

徳島県立の各高等学校及び徳島市立高等学校の令和5年度入学者選抜は、この基本方針に基づいて実施する。

### I 全日制の課程

#### 第1 一般選抜

##### 1 実施校

全ての高等学校で実施する。

##### 2 募集人員

募集定員から育成型選抜及び連携型選抜の合格者数を減じた人数とする。

##### 3 選抜日程

別に定める。

##### 4 出願

- (1) 育成型選抜又は連携型選抜に合格した者は出願することができない。
- (2) 2以上の高等学校に出願することはできない。
- (3) 志願先高等学校にある学科を、志望順に記して出願することができる。
- (4) 全日制の課程と定時制の課程の併願はできない。
- (5) 志願者は、出願締切後、志願変更することができる。

##### 5 選抜資料

必須資料については、全ての高等学校において用いることとし、選択資料については、各高等学校、学科の特色に応じて用いることができる。

###### (1) 必須資料

###### ア 調査書

(ア) 調査書は一般選抜学力検査と同等に扱う。

###### (イ) 各教科の学習の記録の評定

一般選抜学力検査を実施しない音楽、美術、保健体育及び技術・家庭の4教科を重視する。

(ウ) 各教科の学習の記録以外の記載事項についても、選抜の資料として活用する。

###### イ 一般選抜学力検査

実施教科は国語(作文を含む。)、社会、数学、理科、英語(リスニングテストを含む。)の5教科とする。

###### ウ 面接

個人面接又は集団面接のいずれかを実施する。

###### (2) 選択資料

###### ア 実技検査

学科の特性に応じて実施する。

## 6 選抜方法

- (1) 各高等学校長は、スクール・ポリシーを踏まえ、必須資料及び選択資料による成績などを資料とし、当該高等学校・学科等の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜する。

※スクール・ポリシーとは、各高等学校が策定した「育成をめざす資質・能力に関する方針」、  
「教育課程に関する方針」及び「入学者の受入れに関する方針」の総称。

- (2) 学力検査については、各高等学校のスクール・ポリシーに基づき、教科の成績を傾斜配点することができる。
- (3) 自己申告書や副申書が提出された場合は、これを選抜の資料に加える。
- (4) 選抜の手順

### ア 第1次選考

調査書の「各教科の学習の記録」の評定が上位から募集人員の80%以内にいる者で、かつ、一般選抜学力検査の得点が上位から募集人員の80%以内にいる者について、面接等の結果、調査書の行動の記録も資料とし、総合的に選考する。

### イ 第2次選考

第1次選考の対象者以外の者全員について、調査書の「各教科の学習の記録」の評定と一般選抜学力検査の得点の相関に留意して、総合的に選考する。その際、面接等の結果、調査書の学習の記録以外の記載事項も考慮する。

- (5) 第1志望以外の志願者の取扱い

選抜に当たっては、第1志望を優先し、第1志望者の中から合格者を決定する。合格者が定員に満たない場合は、第1志望以外の志願者の中から選抜を行い合格者を決定する。ただし、普通科、理数科、芸術科又は外国語科から、第1志望、第2志望とする者のうち、第1志望不合格者については、第2志望の学科において、その学科を第1志望とした者と同一基準において選考するが、その数は10人以内とする。

## 7 通学区域

- (1) 城東高等学校及び徳島県立学校規則に定める併設型高等学校を除く普通科の通学区域は別表に掲げる3通学区域とする。

なお、学区外からの合格者数は、育成型選抜の入学予定者数と合わせ、第1学区は学区内総募集定員の20%以内、第2学区は学区内総募集定員の12%以内とし、第3学区は高等学校ごとに、城南高等学校、城北高等学校、徳島北高等学校は募集定員の12%以内、徳島市立高等学校は8%以内とする。ただし、育成型選抜においては、県教育委員会が定める指定校における運動部指定競技及び文化部指定分野による学区外からの入学予定者については、この制限を適用しない。

- (2) 城東高等学校、徳島県立学校規則に定める併設型高等学校、専門学科及び総合学科の通学区域は、県内全域とする。

## 第2 育成型選抜

### 1 実施校

中学校での日常活動を重視して評価する活動重視枠<sup>\*1</sup>と、中学校での実績を重視して評価する実績重視枠<sup>\*2</sup>で募集し、全ての高等学校で実施する。

\*1…各高等学校が定めた競技又は分野で募集する枠（運動、文化・ポリシー分野）

\*2…県教育委員会が指定した競技又は分野で募集する枠（鳴門渦潮高等学校体育科及び名西高等学校芸術科を含む）

### 2 出願要件等

#### (1) 出願要件

各高等学校長は、スクール・ポリシーを踏まえ、スポーツ、文化活動、その他高等学校が定める特色ある活動（以下「部活動等」という。）について、出願要件を示す。

なお、活動実績等の基準を具体的に示す。

#### (2) 募集人員

ア 各高等学校の募集人員は、次に示す範囲内とし、高等学校ごとに示す。

(ア) 普通科、理数科及び外国語科は、募集定員の7%以内とする。

(イ) 専門学科（体育科及び芸術科を除く。）及び総合学科は、募集定員の14%以内とする。

(ウ) 上記(ア)・(イ)による募集人員の計が8人未満になる高等学校は、8人以内とする。ただし、県外から志願する者の合格者数が「人数制限なし」の高等学校は、12人以内とする。

イ 体育科及び芸術科の募集人員は、募集定員の100%とする。

ウ 県教育委員会が定める指定校は、指定競技及び指定分野の募集人員を別に定める。

### 3 選抜日程

別に定める。

### 4 出願

(1) 2以上の高等学校に出願することはできない。

(2) 志願先高等学校にある当該選抜を実施する学科を、志望順に記して出願することができる。ただし、体育科と総合学科、又は、普通科と芸術科を、それぞれ志望順に記して出願することはできない。

(3) 全日制の課程と定時制の課程の併願はできない。

## 5 選抜資料

選抜資料については、次の表のとおりとする。

なお、必須資料については、全ての高等学校において用いることとし、選択資料については、各高等学校の判断で用いることができる。

| 活動重視枠   | 実績重視枠   |
|---|---|
| <p>(1) 必須資料</p> <p>ア 調査書</p> <p>(ア) 各教科の学習の記録の評定<br/>育成型選抜学力検査を実施しない音楽、美術、保健体育及び技術・家庭の4教科を重視する。</p> <p>(イ) 各教科の学習の記録以外の記載事項についても、選抜の資料として活用する。</p> <p>イ 育成型選抜学力検査<br/>国語、社会、数学、理科、英語の5教科から出題する。</p> <p>ウ 活動記録<br/>部活動等の活動状況、活動実績、各種資格、中学校生活の状況について、選抜の資料として活用する。<br/>なお、活動実績・結果の評価については、令和2年4月から8月までを除いた期間を評価の対象とする。</p> <p>(2) 選択資料</p> <p>※ア、イのうち少なくとも一つを実施。</p> <p>ア 実技等<br/>部活動等に係わる分野について実技や意見発表等を行う。</p> <p>イ 面接<br/>個人面接を行う。</p> | <p>(1) 必須資料</p> <p>ア 調査書</p> <p>(ア) 各教科の学習の記録の評定<br/>育成型選抜学力検査を実施しない音楽、美術、保健体育及び技術・家庭の4教科を重視する。</p> <p>(イ) 各教科の学習の記録以外の記載事項についても、選抜の資料として活用する。</p> <p>イ 育成型選抜学力検査<br/>国語、社会、数学、理科、英語の5教科から出題する。</p> <p>ウ 活動記録<br/>部活動等の活動状況、活動実績、各種資格、中学校生活の状況について、選抜の資料として活用する。<br/>なお、活動実績・結果の評価については、令和2年4月から8月までを除いた期間を評価の対象とする。</p> <p>エ 実技等<br/>部活動等に係わる分野について実技や意見発表等を行う。</p> <p>(2) 選択資料</p> <p>ア 面接<br/>個人面接を行う。</p> |

## 6 選抜方法

- (1) 各高等学校長は、スクール・ポリシー及び出願要件を踏まえ、必須資料及び選択資料による成績などを資料とし、当該高等学校・学科等の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜する。
- (2) 各高等学校長は、あらかじめ選抜資料の配点を定める。ただし、活動重視枠は、調査書及び学力検査の配点の範囲をそれぞれ20%以上、かつ、両者の配点合計の範囲を50%以上80%以下とする。実績重視枠は、活動記録及び実技等の配点の範囲をそれぞれ20%以上、かつ、両者の配点合計の範囲を60%以上80%以下とする。
- (3) 自己申告書や副申書が提出された場合は、これを選抜の資料に加える。

## 7 通学区域

- (1) 城東高等学校及び徳島県立学校規則に定める併設型高等学校を除く普通科の通学区域は別表に掲げる3通学区域とする。  
なお、学区外からの合格者数は、第1学区は各学区内総募集定員の3%以内、第2学区は各学区内総募集定員の2%以内とし、第3学区は高等学校ごとに募集定員の2%以内とする。ただし、県教育委員会が定める指定校における指定競技及び指定分野による学区外からの合格者については、この制限を適用しない。
- (2) 城東高等学校、徳島県立学校規則に定める併設型高等学校、専門学科及び総合学科の通学区域は、県内全域とする。

## 8 その他

生徒募集に係る部活動等における中学校・高等学校の連携については、別に定める。

### 第3 第2次募集選抜

#### 1 実施校

合格者が募集定員に満たない学科で実施する。

#### 2 出願

- (1) 育成型選抜, 連携型選抜又は一般選抜に合格した者は出願することはできない。
- (2) 2以上の高等学校に出願することはできない。
- (3) 志願先高等学校にある第2次募集選抜を実施する学科を, 志望順に記して出願することができる。
- (4) 全日制の課程と定時制の課程の併願はできない。

#### 3 選抜日程

別に定める。

#### 4 選抜資料

必須資料については, 全ての高等学校において用いることとし, 選択資料については, 各高等学校, 学科の特色に応じて用いることができる。

##### (1) 必須資料

- ア 調査書
- イ 作文
- ウ 面接

##### (2) 選択資料

- ア 学校指定教科の検査
- イ 実技検査

#### 5 選抜方法

- (1) 各高等学校長は, スクール・ポリシーを踏まえ, 必須資料及び選択資料による成績などを資料とし, 当該高等学校・学科等の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜する。
- (2) 自己申告書や副申書が提出された場合は, これを選抜の資料に加える。

#### 6 通学区域

通学区域は県内全域とする。

### 第4 連携型選抜

徳島県立学校規則に定める連携型中学校から連携型高等学校への入学者選抜については, スクール・ポリシーを踏まえ, 志望理由書の審査並びに学力検査(国語, 社会, 数学, 理科, 英語の5教科から出題する。)及び面接の成績などを資料とし, 当該高等学校・学科等の教育を受けるに足る能力・適性等を総合的に判定して選抜する。



## II 定時制の課程

### 第1 一般選抜

全日制の課程に準ずる。なお、通学区域は県内全域とする。

また、令和5年4月1日現在で満18歳以上の者については、その申請により、学力検査に代えて、作文を実施することができる。

### 第2 育成型選抜

全日制の課程に準ずる。なお、通学区域は県内全域とする。

### 第3 第2次募集選抜

全日制の課程に準ずる。

## III その他

第1 高等学校ごとに、スクール・ポリシーを、別に示す。

第2 各高等学校の募集定員は、別に定める。

第3 特別な事情により欠席が多い者及び調査書に評定が記載できない者に対する配慮

1 特別な事情により欠席が多い者は、自己申告書を提出することができる。

2 調査書に評定の記載ができない者については、中学校長は、副申書を提出しなければならない。

第4 県外からの志願

県外に居住する者で、特別な事情があって、本県の全日制の課程の高等学校を志願する場合は、出願に係る教育長の承認を受けなければならない。

第5 海外帰国生徒等の選抜

海外帰国生徒等の選抜については、県教育委員会と協議し、弾力的に取り扱うことができる。

第6 新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、方針を変更する場合もある。

別表

令和5年度 徳島県公立高等学校入学者選抜  
全日制課程における普通科の通学区域

| 学区 | 高等学校                                  | 区 域  |
|----|---------------------------------------|--|
| 1  | 小松島, 富岡西, 那賀,<br>海部                   | 小松島市, 阿南市, 勝浦町, 上勝町, 佐那河内村,<br>那賀町, 美波町, 牟岐町, 海陽町                              |
| 2  | 鳴門, 板野, 阿波,<br>名西, 阿波西, 穴吹,<br>脇町, 池田 | 鳴門市, 吉野川市, 阿波市, 美馬市, 三好市,<br>石井町, 神山町, 松茂町, 北島町, 藍住町, 板野町,<br>上板町, つるぎ町, 東みよし町 |
| 3  | 城南, 城北, 徳島北,<br>徳島市立                  | 徳島市  |
|    | 城東, 富岡東, 川島                           | 全県   |

重複区域

下表の区域に保護者の住所がある生徒は, 右の学区の高等学校に通学することができる。

| 区 域                          | 通学できる学区 |
|------------------------------|---------|
| 佐那河内村, 松茂町, 北島町,<br>藍住町, 神山町 | 第3学区    |

**公立高等学校入学者選抜の改善（案）**  
 （現中学2年生対象の令和5年度入学者選抜より）

**1 特色選抜の改善**

(1) 改善のねらいと方策

- ① スポーツ競技力の向上を図るため、有力選手を指定校に集中させるとともに、他の生徒の資質・能力も十分に評価する。  
 [方策①] 実績重視枠（競技力等を評価）と活動重視枠（日常活動を評価）とに新たに分け、検査内容や募集人数等に差異を設ける。
- ② スクール・ポリシーを反映させるとともに、文化部など特定分野の募集人数を増やす。  
 [方策②] すべての高校で文化・ポリシー分野を創設する。

(2) 改善図

① 現行「特色選抜」

↓ 違いがほとんどない

|                       |  |
|-----------------------|--|
| 「指定競技」（県教委が決定）<br>運動部 | 「指定競技以外」（各高校が決定）<br>運動部    文化部    その他<br>※鳴門渦潮高校体育科と名西高校芸術科を含む |
|-----------------------|--|

② 改善「育成型選抜」

↓ 明確な違いを設ける

|          | 「実績重視枠」<br>運動部指定競技    文化部指定分野<br>※鳴門渦潮高校体育科を含む    ※名西高校芸術科を含む                            | 「活動重視枠」<br>運動分野    文化・ポリシー分野<br>※すべての高校で募集する   |
|----------|--|--|
| 検査内容     | 中学校での「実績」を重視<br>調査書(中学校評定値) [必須]<br>学力検査 [必須]<br>活動記録(大会等実績) [必須]<br>実技等 [必須]<br>面接 [選択] | 中学校での「日常活動」を重視<br>調査書(中学校評定値) [必須]<br>学力検査 [必須]<br>活動記録(大会等実績) [必須]<br>実技等 [選択]<br>面接 [選択] |
| 募集人数     | 県教委が種目ごとに決定し、<br>団体競技はレギュラー人数<br>(現行と同様)   | 各学校が種目ごとに決定し(「〇人程度」)、<br>団体競技はレギュラー人数未満<br>(各学校の上限人数内)<br>※上限は普通科系学科7%、他学科14%              |
| 出願前の個別面談 | 現行は共通で8月1日から開始 → ・「実績重視枠」は、前倒しで開始<br>・「活動重視枠」は、実績重視枠よりも一定期間遅れて開始                         |  |

**2 一般選抜の改善**

学力検査は、各高校の裁量で、スクール・ポリシーに基づき（学校の特色に応じて）、教科の傾斜配点を可能とする。ただし、5教科の合計（基本500点）は600点までの範囲とする。

**3 今後のスケジュール**

- 12月 中学校・高校対象説明会、中学生・保護者対象「リーフレット」配付
- 2月 「入試要項素案」「生徒募集案内素案」公表

|                              |   | 令和5年度  | 令和4年度  | (下線部は変更部分)<br>備考欄                            |
|------------------------------|---|--|--|--|
| I 全日制の課程<br>第1 1 一般選抜<br>実施校 | 1 | 全ての高等学校で実施する。  | 城ノ内高等学校を除く高等学校全てで実施する。   | (変更)   |
|                              | 2 | 募集人員<br>募集定員から育成型選抜及び連携型選抜の合格者数を減じた人数とする。  | 募集人員<br>募集定員から特色選抜及び連携型選抜の合格者数を減じた人数とする。   | (変更)   |
|                              | 3 | 選抜日程<br>別に定める。   | 選抜日程<br>別表1のとおりとする。  | (変更)   |
|                              | 4 | 出願<br>(1) 育成型選抜又は連携型選抜に合格した者は出願することができない。<br>(略)   | 出願<br>(1) 特色選抜又は連携型選抜に合格した者は出願することができない。<br>(略)  | (変更)   |
|                              | 6 | 選抜方法<br>(1) (略)<br>(2) 学力検査については、各高等学校のスクール・ポリシーに基づき、教科の成績を傾斜配点することができる。<br>(3) 自己申告書や副申告書が提出された場合は、これを選抜の資料に加える。<br>(4) 選抜の手順<br>(略)<br>(5) 第1志望以外の志願者の取扱い<br>(略)   | 選抜方法<br>(1) (略)<br>(2) 自己申告書や副申告書が提出された場合は、これを選抜の資料に加える。<br>(3) 選抜の手順<br>(略)<br>(4) 第1志望以外の志願者の取扱い<br>(略)  | (新設)   |
|                              | 7 | 通学区域<br>(1) 城東高等学校及び徳島県立学校規則に定める併設型高等学校を除く普通科の通学区域は別表に掲げる3通学区域とする。<br>なお、学区外からの合格者数は、育成型選抜の入学予定者数と合わせ、第1学区は学区内総募集定員の20%以内、第2学区は学区内総募集定員の12%以内とし、第3学区は高等学校は募集定員の12%以内、城南高等学校、城北高等学校、徳島北高等学校は募集定員の12%以内、徳島市立高等学校は8%以内とする。ただし、 <u>育成型選抜</u> においては、 <u>運動部指定競技及び文化部指定分野</u> による指定校における | 通学区域<br>(1) 城東高等学校及び徳島県立学校規則に定める併設型高等学校を除く普通科の通学区域は別表2に掲げる3通学区域とする。<br>なお、学区外からの合格者数は、特色選抜の入学予定者数と合わせ、第1学区は学区内総募集定員の20%以内、第2学区は12%以内とし、第3学区は高等学校ごとに、城南高等学校、城北高等学校、徳島北高等学校は募集定員の12%以内、徳島市立高等学校は8%以内とする。ただし、 <u>特色選抜</u> においては、 <u>NEO徳島トップスポーツ強化事業</u> の指定校における | (削除)<br>(変更)<br>(追加)<br>(変更)<br>(変更)<br>(追加) |

学区外からの入学予定者については、この制限を適用しない。  
(略)

第2 育成型選抜  
1 実施校

中学校での日常活動を重視して評価する活動重視枠\*1と、  
中学校での実績を重視して評価する実績重視枠\*2で募集し、  
全ての高等学校で実施する。

\*1…各高等学校が定めた競技又は分野で募集する枠（運動、文化・  
ポリシー分野）

\*2…県教育委員会が指定した競技又は分野で募集する枠（鳴門渦潮  
高等学校体育科及び名西高等学校芸術科を含む）

2 出願要件等

(1) 出願要件  
各高等学校長は、スクール・ポリシーを踏まえ、スポーツ、  
文化活動、その他高等学校が定める特色ある活動（以下「部  
活動等」という。）について、出願要件を示す。

なお、活動実績等の基準を具体的に示す。

(2) 募集人員

ア 各高等学校の募集人員は、次に示す範囲内とし、高等学  
校ごとに示す。

(7) 普通科、理科及び外国語科は、募集定員の7%以内  
とする。

(4) 専門学科（体育科及び芸術科を除く。）及び総合学科  
は、募集定員の14%以内とする。  
(略)

ウ 県教育委員会が定める指定校は、指定競技及び指定分野  
の募集人員を別に定める。

3 選抜日程  
別に定める。  
(略)

5 選抜資料

選抜資料については、次の表のとおりとする。  
なお、必須資料については、全ての高等学校において用いる  
こととし、選択資料については、各高等学校の判断で用いるこ  
とができる。

は、この制限を適用しない。  
(略)

第2 特色選抜  
1 実施校  
別に定める。

2 出願要件等

(1) 出願要件  
スクール・ポリシーを踏まえ、スポーツ、文化活動、その  
他高等学校が定める特色ある活動（以下「部活動等」という。）  
について、高等学校ごとに出願要件を示す。ただし、体育科  
及び芸術科については、出願要件を別に示すことができる。  
また、活動実績等の基準を示す。

(2) 募集人員

ア 各高等学校の募集人員は、次に示す範囲内とし、高等学  
校ごとに示す。

(7) 普通科は、募集定員の6%以内とする。

(4) 専門学科（体育科及び芸術科を除く。）及び総合学科  
は、募集定員の13%以内とする。  
(略)

ウ NEO徳島トップスポーツ校強化事業の指定校は、指定  
競技の募集人員を別に定める。

3 選抜日程  
別表1のとおりとする。  
(略)

5 選抜資料

必須資料については、全ての高等学校において用いることがで  
きる。選択資料については、各高等学校の判断で用いることがで  
きる。

| 活動重視性   | 実績重視性  |
|---|--|
| <p>(1) 必須資料<br/>ア 調査書<br/>イ (ア) 各教科の学習の記録の<br/>評定<br/>育成型選抜学力検査を<br/>実施しない音楽、美術、家庭<br/>保健体育及び技術・家庭<br/>の4教科を重視する。<br/>(イ) 各教科の学習の記録以<br/>外の記載事項について<br/>も、選抜の資料として活用<br/>する。<br/>イ 育成型選抜学力検査<br/>国語、社会、数学、理科、<br/>英語の5教科から出題す<br/>る。<br/>ウ 活動記録<br/>部活動等の活動状況、活<br/>動実績、各種資格、学校<br/>生活の状況について、選抜<br/>の資料として活用する。果<br/>なお、活動実績・結果の<br/>評価については、令和2年<br/>4月から8月までを除いた<br/>期間を評価の対象とする。</p> <p>(2) 選択資料<br/>※ア、イのうち少なくとも<br/>一つを実施。<br/>ア 実技等<br/>部活動等に係わる分野に<br/>ついて実技や意見発表等<br/>を行う。<br/>イ 面接<br/>個人面接を行う。</p> | <p>(1) 必須資料<br/>ア 調査書<br/>イ (ア) 各教科の学習の記録の<br/>評定<br/>育成型選抜学力検査を<br/>実施しない音楽、美術、家庭<br/>保健体育及び技術・家庭<br/>の4教科を重視する。<br/>(イ) 各教科の学習の記録以<br/>外の記載事項について<br/>も、選抜の資料として活用<br/>する。<br/>イ 育成型選抜学力検査<br/>国語、社会、数学、理科、<br/>英語の5教科から出題す<br/>る。<br/>ウ 活動記録<br/>部活動等の活動状況、活<br/>動実績、各種資格、学校<br/>生活の状況について、選抜<br/>の資料として活用する。果<br/>なお、活動実績・結果の<br/>評価については、令和2年<br/>4月から8月までを除いた<br/>期間を評価の対象とする。<br/>エ 部活動等に係わる分野に<br/>ついて実技や意見発表等<br/>を行う。<br/>(2) 選択資料<br/>ア 面接<br/>個人面接を行う。</p> |

|  |   |
|--|---|
| <p>(1) 必須資料<br/>ア 調査書<br/>イ (ア) 各教科の学習の記録の評定<br/>特色選抜学力検査を実施しない音楽、美術、保健体育<br/>及び技術・家庭の4教科を重視する。<br/>(イ) 各教科の学習の記録以外の記載事項についても、選抜<br/>の資料として活用する。<br/>イ 特色選抜学力検査<br/>国語、社会、数学、理科、英語の5教科から出題する。<br/>ウ 活動記録<br/>部活動等の活動状況、活動実績、各種資格、中学校生活<br/>の状況について、選抜の資料として活用する。<br/>なお、活動実績・結果の評価については、令和2年4月<br/>から8月までを除いた期間を評価の対象とする。</p> <p>(2) 選択資料<br/>ア 作文<br/>志願してほしい生徒像、出願要件などと関連して、志願<br/>者の関心・意欲や能力・適性等をみる作文を課す。<br/>イ 面接<br/>個人面接又は集団面接を行う。<br/>ウ 部活動等に係わる分野について実技や意見発表等を行<br/>う。</p> | <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(削除)</p> <p>(削除)</p> |
|--|---|

6 選抜方法  
(略)

- (2) 各高等学校長は、あらかじめ選抜資料の配点を定める。ただし、活動重視率は、調査書及び学力検査の配点の範囲をそれぞれ20%以上、かつ、両者の配点合計の範囲を50%以上80%以下とする。実績重視率は、活動記録及び実技等の配点の範囲をそれぞれ20%以上、かつ、両者の配点合計の範囲を60%以上80%以下とする。

7 通学区区域

- (1) 城東高等学校及び徳島県立学校規則に定める併設型高等学校を除く普通科の通学区区域は別表に掲げる3通学区とする。  
なお、学区外からの合格者数は、第1学区は各学区内総募集定員の3%以内、第2学区は各学区内総募集定員の2%以内とし、第3学区は高等学校ごとに募集定員の2%以内とする。ただし、原教育委員会が定める指定競技及び指定分野による学区外からの合格者については、この制限を適用しない。

第3 第2次募集選抜  
1 (略)

- 2 出願  
(1) 育成型選抜、連携型選抜又は一般選抜に合格した者は出願することできない。  
(略)

3 選抜日程  
別に定める。  
(略)

II 定時制の課程  
第1 一般選抜

- 全日制の課程に準ずる。なお、通学区区域は県内全域とする。また、令和5年4月1日現在で満18歳以上の者については、その申請により、学力検査に代えて、作文を実施することができ

第2 育成型選抜  
(略)

6 選抜方法  
(略)

- (2) 各高等学校長は、あらかじめ選抜資料の配点を定める。その際、調査書及び特色選抜学力検査の配点の範囲は、それぞれ20%以上とする。

7 通学区区域

- (1) 城東高等学校及び徳島県立学校規則に定める併設型高等学校を除く普通科の通学区区域は別表に掲げる3通学区とする。  
なお、学区外からの合格者数は、第1、第2学区は各学区内総募集定員の2%以内とし、第3学区は高等学校ごとに募集定員の2%以内とする。ただし、NEO徳島トップスポーツ強化事業の指定校における指定競技による学区外からの合格者については、この制限を適用しない。

第3 第2次募集選抜  
1 (略)

- 2 出願  
(1) 特色選抜、連携型選抜又は一般選抜に合格した者は出願することできない。  
(略)

3 選抜日程  
別表1のとおりとする。  
(略)

II 定時制の課程  
第1 一般選抜

- 全日制の課程に準ずる。なお、通学区区域は県内全域とする。また、令和4年4月1日現在で満20歳以上の者については、その申請により、学力検査に代えて、作文を実施することができ

第2 特色選抜  
(略)

|   |   |                         |
|---|---|-------------------------|
| <p>Ⅲ その他<br/>(略)</p> <p><u>第6</u> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により，方針を変更する場合もある。</p> | <p>Ⅲ その他<br/>(略)</p> <p>第6 新型コロナウイルス感染症に感染し又は感染が疑われる者への対応<br/>受検機会を確保するとともに，募集定員を弾力的に取り扱うこととし，別に定める。</p> <p><u>第7</u> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により，方針を変更する場合もある。</p> | <p>(削除)</p> <p>(変更)</p> |
|---|---|-------------------------|